

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月30日

協議会名: 埼玉県バス利用促進協議会

評価対象事業名: バリアフリー化設備等整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
朝日自動車株式会社	ノンステップバスの導入		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置づけられた目標を達成した	
株式会社協同バス	ノンステップバスの導入		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した	左記のノンステップバス導入事業は当該年度で完了。
国際十王交通株式会社	ノンステップバスの導入	前回に引き続き、計画通りの超低床ノンステップバス導入を行った。	A 予定通り2台の導入を行い、事業は適切に実施された。	A 全車両ノンステップバスで運行している東松山線は100%を維持できた。	引き続き、ノンステップバス導入可能な路線における導入を行っていく。
川越観光自動車株式会社	ノンステップバスの導入	前回に引き続き、計画通りの超低床ノンステップバス導入を行った。	A 事業計画の見直し(減車)で当初5両の計画から4両の導入に留まったが、事業は適切に実施された。	A 事業計画の見直しで5両から4両に変更となったが、計画通り、全路線換算でノンステップバス導入率が93.6%から98.5%までに高まった。	引き続き、ノンステップバス導入可能な路線における導入を行っていく。
茨城急行自動車株式会社	ノンステップバスの導入		A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A ・予定通りノンステップバス4台を導入した。(うち、地域公共交通確保維持改善事業費補助に係る台数:4台) ・事業実施された導入系統において、ノンステップバス運行本数割合が計画どおり100%→100%となった。	左記のノンステップバス導入事業は当該年度で完了。